

多治見市の取組

<http://www.city.tajimi.gifu.jp/hoken-center/NETYU.HTM>

夏暑い街・多治見市では、2006年から熱中症予防のために熱中症注意情報提供システムを導入し、市民向けの情報発信を実施しています。多治見市は、毎年、夏季には日本最高気温を記録し、2007年8月16日には、気象庁観測史上最高気温の40.9度を記録しました。そのため、この情報は、夏季の市民の健康対策として幅広く活用されています。

熱中症注意情報・警報の提供

多治見市保健センターに隣接した幼稚園の園庭に「定置型熱中症指標計」を設置し、気温・湿度・黒球温度を自動計測し、気温が31度を超え、かつ暑熱指標(WBGT)が28度を超えた場合に「多治見市緊急メール」で「熱中症注意情報」を提供します。また、アメダス多治見観測所の気温が38度を超えた場合に「熱中症警報」を、「多治見市緊急メール」の他、行政防災無線でも情報提供し注意を喚起しています。

○情報提供期間 毎年7月1日から9月30日

○周知方法

- ① 多治見市緊急メールシステムによるメール配信
- ② 看板掲示(80箇所)
公共施設、金融施設、商業施設など
- ③ コミュニティーFM(FMたじみ)による放送



熱中症注意情報のメール文

【多治見市保健センターからのお知らせ】

現在、多治見市内は熱中症が発症しやすい気象条件となっています。

次の対策をして【熱中症の予防に心がけてください】

- a)過度なスポーツは控える
- b)適度な水分補給
- c)こまめな休憩
- d)外出時には帽子を着用する
- e)体調が悪いときは無理をしない



熱中症メールについて

2006年から提供を始めた緊急メールの登録者数は、初年度の2006年約300件、2007年約1,600件、2008年7月現在で約2,400件となっています。

また、熱中症啓発のための看板は、一部施設については常設とすることで、夏期の期間、継続して熱中症に対し注意するよう喚起を促すことを予定しています。

そのほかの取組

多治見市では、「市民参加による健康づくり」をテーマに、2008年7月2～3日の期間に「第4回健康都市連合日本支部大会」を開催し、市民参加による「メダカの学校」「緑のカーテン」づくり事業を展開し、現在は暑さに負けない住みやすい街づくりを行うために、「暑さ対策」を市民から広く募集し、住み良い多治見つくりを目指しています。



問合せ先

【部署】多治見市役所健康福祉部保健センター
 【連絡先】電話:0572-23-6187 FAX:0572-25-8866
 【メールアドレス】hosen@city.tajimi.gifu.jp